

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援 ひばり学園		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 2 月 24 日		～ 令和 7 年 2 月 25 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 名	(回答者数) 1 名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 24 日		～ 令和 7 年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1 名	(回答者数) 1 名
○訪問先施設評価実施期間	令和 7 年 3 月 5 日		～ 令和 7 年 3 月 31 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 31 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことをよく知る担当保育士が、訪問支援員として行くことができる。	登園時に保護者から、併行通園先での子どもの状況や、保護者の思いについて、丁寧に話を聞いている。	保護者から得た情報と、訪問先施設の質問から、併行通園先の集団保育の中で必要とする支援内容を考える。
2	リハビリテーション科が同じ施設にあり、子どもの担当療法士からの情報提供を得られる。また、他の職種(主治医、心理士、相談支援専門員など)も同じ施設内にいるので情報提供を得られる。	訪問支援員が、必要な情報をそれぞれから多面的に集める。	訪問先の施設で、子どもが活動するために必要な支援について、適切な職種と連携して支援内容を考えて支援する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;">           保育所等訪問支援は今回が初めての実施なので、これから実施回数を重ねながら「弱み」に気づき、工夫や改善をしていきたいと考える。         </div>		